

I. 反対尋問

- 5 1. 条文上要件として規定されていない損害要件を独立の要件として扱う根拠は何か。
2. 弁護レジュメ 1 頁 29 行目における「実質的な財産上の損害」とは具体的にどのような内容か。

以上